

支援教育コーディネーターだより

はらっば

川崎市立下作延小学校
支援教育コーディネーター
原 和美
R6. 6. 27

子どもの SOS の受け止め方

豊かな人間関係を育むことを目的とする「かわさき共生＊共育プログラム」の一環として、令和4年度より取り入れられた「SOS の出し方・受け止め方教育」の授業を7月に各クラスで実施します。子どもが、さまざまな困難に対処できる心のもち方や自分も他人も大切にできる人間関係のつくり方を身に付けるために、

- (1) **自分の心を見つめ、**
- (2) **どのような時に心に痛みを感じるのかを知り、**
- (3) **自分の困りごとを SOS として友だちや大人に伝えたり、友だちからの SOS を受け止めたりすることの大切さ** を学習します。

学習を通して、(1) **自分の心を回復させる力がそれぞれの中にある！**

(2) **目に見えない心の痛みに気づくために、「大丈夫？」と自分で聞いてみてあげる！**

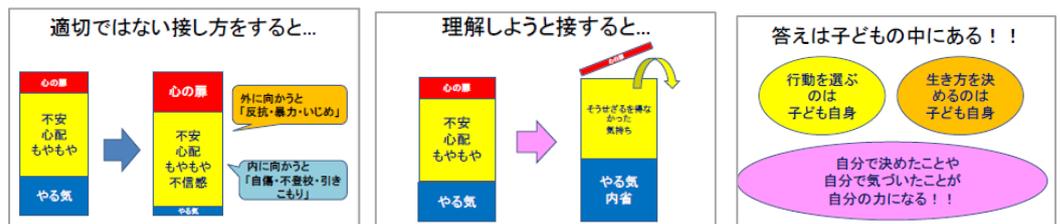
(3) **心の傷は、言葉にして見せ、手当てを受けることでよくなる！** ことを学びます。

先週のフリー参観日（6月22日）には、保護者の方向けの「SOS の出し方・受け止め方教育」講座を開催しました。上の内容の紹介に加え、教頭の中島より、子どもの SOS の受け止め方についてお話しさせていただきました。

・親と子が幸せになる「X の法則」、幸せが遠のく「Y の法則」

ほんの森出版『親と子が幸せになる X と Y の法則』田村節子著より

・「心のシステム」



「大変参考になった」「掘り下げて聞きたい」というお声をいただきました。機会を検討します。

心の痛みに気づき、限界を自覚し、助けを求められることは強さです。それは、子どもと同じく大人にとっても大切な強さです。学校生活で気になることや心配なことがありましたら、ぜひ相談にいらしてください。早期対応は、早期解決につながります。心理の専門資格を有する「学校巡回カウンセラー」との相談も可能です。希望される方は、まずは支援教育コーディネーターにご連絡ください。

電話：044 (822) 0723 (下作延小学校 職員室)
担当：原 和美 (はら かずみ) / 支援教育コーディネーター